



聖槍拔鎗

"FGO" Unofficial Fan book
[Altria{FUTANARI} x Mordred]
Presented by Pe0

WARNING: For Over 18 ONLY!

WARNING:
R-18
For Adults Only

CAUTION:
FUTANARI

FUTANARI
x FEMALE



ニヤニヤ

——そうそう……
キツく縛ってくれよ

父上の機嫌を
損ねないようにな

フアッ

ゴキッ

……

わかっている

聖都に居城を持たぬ
遊撃騎士
モードレッド

この者が夜間まで聖都に
滞在することは
本来は認可されていない——

だが
例外の夜が
数日に一度
訪れる

……
モードレッド

ん？

からから

知っているのは
彼奴本人と
この私と

そして
他ならぬ
獅子王のみ

……おまえは
この任務……
含むところは
ないのか……

獅子王直々の
命が降りた日
モードレッドは
この王城に
滞在する



……何がだ？
もしかして
羨ましいのかあ？

その目的は

実の「父上」たるはずの
獅子王の
間に侍るため

オレが直々に
父上から
賜った
任務なんだぜ？
オレにしか
できない

……
……そうか
今の質問は
忘れろ

……そろそろ
王がお見えになる
時間だ
準備もできたし
私は退出するぞ



おーう
さっさと行きやがれ



カッ

カッ

父上...

「獅子王」

聖地に降臨した
「聖槍」を繰る
アーサー王



獅子王は「聖槍」の影響を強く受け
生前の騎士王とは
決定的な相違点を
幾つか有していた



そのうちの二つが

その身への「聖槍」の顕現

……とはいえ
外観も機能も
人体も融合した
それは、
今は大かつて醜
悪な
男根そのもので
しかなか

……モードレッド

す、

ぐわ

ぐわ

男根と同じように
余剰の魔力放出を
ときおり必要とし

そのために
女が求められた

ち
ちちう……ッ
!

……男王であれば
しはしは起こりうる
取るに足らぬ話だ

此度

貴様に
着衣など
不要である

伽の相手として
王が選んだ女が
実の「娘」であることも
ほんの些事であろう

最初は
貴様の意向に
任ず故

疾く
鎮めよ

がぐん



まず他ならぬ王に女としての機能が求められるという事実あのモードレッドがどう受け入れるのかと思えば……

……ッま
任せな
父上……
こ今度こそ
口で完全に
搾り取って
やるから……な



……やはり王直々に求められる恐れに比すれば些事であるようだった

……ッ
父上……
父上……♡



叛逆者としての生前の行いを鑑み
閨では必ず「鉄の戒め」にて力と自由を奪う

そのような待遇でさえ……
悦ぶかのよう
王に奉仕した

……やはり
手ぬるいな

しゅわ
しゅわ

しゅわ
しゅわ
しゅわ



しゅわ
しゅわ
しゅわ

しゅわ
しゅわ
しゅわ

……そうだ
喉奥を使え
根本まで奉仕せよ

そうでもしなければ
口で達させるなど
一晩かけても
叶わんと知れ

何しろ
道の使い捨ての
幸福と言うのだから

愛用の性玩具となる
悦びは
如何ばかりか
と言った処か——

あ
た

あ
た
あ
た
あ
た

あ
た

あ
た

あ
た





ド
ズ
...

ド
ズ

ド
ズ

ド
ズ

ド
ズ

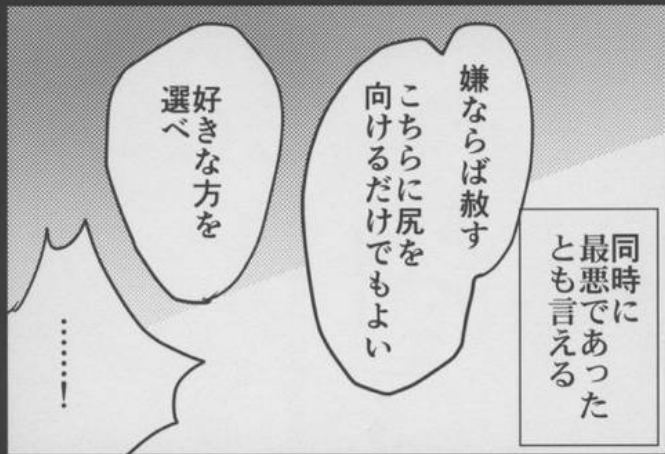
ド

ド

ド

ド

ド





聖槍を
受け入れる準備を
既に整えていよう

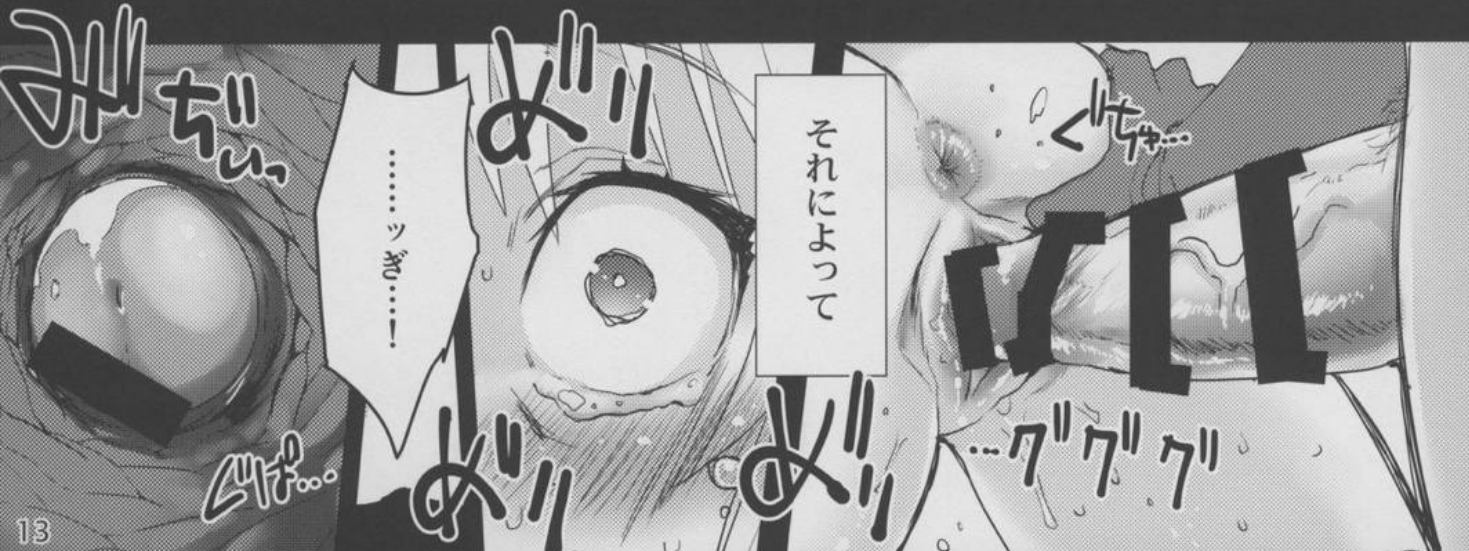
……ふむ
貴様の胎



大儀である

——モードレッドに
とつて「聖槍」は
因縁浅からぬ槍

生前にも
その腹に聖槍を
受け入れたことがあり



それによつて



それによつて
死んだのだ



精神を
引き裂く程度には
充分な概念を有する

あちち……
うえ……

あ
あ……ッ

「聖槍は
今は王の肉棒に
成り果てようとも
その靈基に刻まれた
死の記憶を叩き起こし



……ふ……む……

すざい…



…貴様はやはり胎が一番具合がよい聖槍が甚く感じている…

その反応を「聖槍」は頗る気に入ったようだった



喉や手などの見戯は不要である
すぐに脚を開いて迎え入れればよい



—そうして一突きごとに鮮明な「死」を味わわせる

力を封じられたただの無力な娘に



ぽか...

貴様の胎こそが
聖槍の鞘だ
いつでも
これを受け入れよ

...よいな

今は父親の
性玩具でしかない
ただの娘の
その精神を
さらに入念に貫き
穿ち
抉り潰して



はい

ちぢぢえ...ッ

かつて抱いたはずの
叛逆の牙を
一片も残さず
抜き取っていく—





……それでも
この時だけは
この時だけは
王を独占できる

ち
ちちうえ♡

ちちうえ
オレは……あ……♡

「父上が」
「この時だけは」
「オレだけを見ている」

——少なくとも
そう錯覚することが
できる

どんな……
ことでも……♡

ちちうえが……
愛してく
れるなら





……全て……
注ぎ終えた……
な……



……ふう……う
……これで……

……
予言された
凶兆の異邦人が
近日の内に
現れると聞く



父上から頂いた
魔力も……この身も
すべて……
父上のためだけに
使う……ぜ……

……ああ



モードレッド
その暁には
この
注ぎ込んだ魔力
存分に
『暴走』させよ





アグラヴェイン

……

……

はっ

……お王……

がががが

今宵は終わった
私は休む



……主

あの……
モードレッドは……

……ああ



用は済んだ

あれは
夜が明ける前に
聖都外へ出しておけ

……はっ……





目覚めまでは……
置いておいても
良からう……

モードレッド……
円卓の騎士の一員……にして
忌まわしき血を
分けた兄妹……

……そんな者の『女の貌』を
こう見せつけられるのは……

……思った以上に……



……しかし王の行いは
聖槍の制御の
ためのもの……
それに……

歪な形ではあるが……
モードレッドめが
父に抱いた願望をも
囚らずも叶えて
いらっしやるのだろうか……

フ～……



……願望
……願望を……
叶える……？

「槍を鎮めるために
女が必要、それは」
「男王であれば
当たり前のこと」

王が……
男であれば……とは……
それは……

——聖槍が
あのような形で
顕現した理由

まさか
まさか



無駄な抵抗
するんじゃないねえ

ムムム...

…モーさん!



大丈夫だ
マスター
オレに
やらせてくれ

へへーん
どうだこの
ブリドゥエン
カッコイイだろ?



テメエはオレを
認めねえ…か

あつはは

そりやそうだよな
意味不明だよな
オレって

自分が
こんな靈基に
なるなんて
オレもびっくり
だったぜ?



そんなの…
本来のオレだったら
抗えるはずねえもんな



逆…
お前のこと
理解っちゃうん
だよな
ちよつとだけ

…どんな形であれ
父上にまた
仕える機会が
与えられたり
父上に自分を
特別として
求められたり

……でも

そうなっちゃうのが
理解できるからこそ

オレも
今のお前の在り方を
認めてやるわけには
いかねえんだ

……あんまり
言いたかねーけど

ぶっちゃけ
実の父親に
股開いてるほうが
相当キテるからな！

その「暴走」
オレが鎮めてやる

海水かぶって
アタマ冷やせよな！

はっ

不自然に
変質させられた霊基で
ほざきやがる！

今度こそ
マスターともども
仲良く消し炭になりな……！

< "聖槍" 抜錨 > おくづけ

- 発行日 : 平成31年 4月29日
- 印刷所 : 有限会社 ねこのしっぽ 様
- 発行者 : Peθ
- ◇ 代表 : もず
- ◇ E-Mail : l.bucephalus@gmail.com
- ◇ Pixiv : id=11342
- ◇ Twitter : @L_bucephalus / @b_l_a_n_c

